第2期北海道創生総合戦略
重点戦略プロジェクト

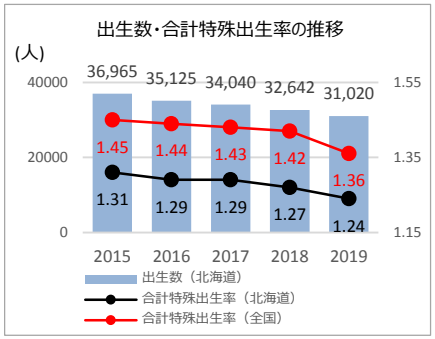
①「心豊かに・北海道暮らし」プロジェクト

～ 人口減少下でも心豊かに暮らせる地域づくり ～

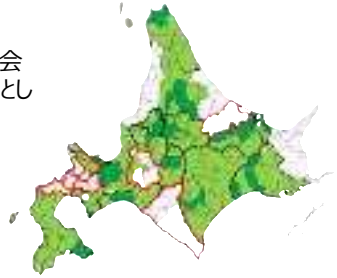
これまでの主な取組

◆子どもの成長や学びの支援
- 保育所等を利用する第2子以降の3歳未満児の保育料を無償化する市町村に対する支援（R2：163市町村）
- コロナ禍における教育の推進
  - ➢オンライン学習における機器活用のノウハウと効果的な指導方法を周知
  - ➢「ＩＣＴ活用授業指針」を策定及び授業モデルの作成を検討　　等

◆「新北海道スタイル」道民運動の展開
- 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、道民と事業者双方が、感染リスクを低減させる「新しい生活様式」を実践、可視化北海道らしいライフスタイル、ビジネススタイルとして日常に浸透・定着　　等



◆広域連携による行政サービスの最適化
- 振興局毎に有識者を交え、地域の未来予測を基に今後の社会変化や課題の現れ方、広域連携のあり方について研究する場として「地域課題連携対応研究会」を開催（R2.7～ R3.3月）
【広域連携前進プランに基づく取組数：43件(R2)】



◆医療提供体制等の充実強化
- 感染症患者を受け入れる病症を確保する医療機関に対し、病床区分に応じた支援を実施
- 在宅介護をしている家族が感染した場合の在宅要介護者の受入体制整備
- 新型コロナに対応するため、医療従事者等への支援や医療用資機材の整備等の寄附を募集　　等

２０２１年度の推進方向

現下の危機克服と感染症に強い地域社会の構築

感染症に強い地域社会の構築に向けた医療提供体制等の充実強化

予防
- ワクチン接種体制の整備

相談
- 24時間・年中無休の相談センターの運営

検査
- PCR検査センターの増設
- 医療機関等への検査機器の導入支援

医療
- 入院患者の受入病床や軽症者等用宿泊療養施設の十分な確保
- 医療チーム、代替医師等の派遣
- 外国人患者の受入体制整備
- 帰宅困難な医療従事者の宿泊経費助成
- 医療機関・薬局の再開等支援　　等

安心できる子育てや学びの確保

◆安心して子どもを生み育てる環境づくり
- 結婚サポートセンター、次世代教育コーディネート、結婚生活支援事業実施市町村への支援
- 市町村が行う地域の子育て支援拠点・放課後児童クラブの運営等の支援や子育て支援員等の研修の実施
- 特定不妊治療に要する費用に対する助成

◆「学びをとめない」環境の整備
- 感染症の影響による家計急変世帯や低所得世帯に対し、高校教育に係る奨学給付金を支給
- 校内の換気・消毒、文書や資料の印刷等、教員の業務を補助するスクール・サポート・スタッフを学校に配置
- 児童生徒のいじめ・不登校等の対応等を図るため、スクールカウンセラー等を学校に配置　　等

新北海道スタイルの定着促進等

◆「新北海道スタイル」の可視化・定着の促進
- 感染リスクを低減する行動やビジネススタイルを実践する「新北海道スタイル」の浸透・定着に向けた取組を促進

◆社会福祉施設等における感染防止対策の推進
- 感染者が発生した施設等が必要なサービスを継続して提供できるよう、緊急時の応援派遣体制の整備や感染防止機器の整備などの支援　　等

行政サービスの維持・生活インフラの確保

◆持続可能な交通・物流ネットワーク形成
- 市町村や交通事業者等と連携し、地域にとって最適な交通体系の構築に向け、広域での地域公共交通計画を策定
- MaaS実証実験の成果や課題を、全道各地域の交通事業者など関係者間で広く共有し、シームレス交通の全道展開を図る

◆広域連携による行政サービスの最適化
- 振興局主導で「広域連携推進検討会議」を開催し、市町村間の連携及び道と市町村の連携による地域課題解決の方向性を検討するとともに、「広域連携前進プラン」に基づく取組を展開

◆北方型住宅の普及推進
- 高い断熱・気密性能と耐震性の確保、エネルギー消費量の縮減など、北海道の気候風土に根ざした質の高い住宅である「北方型住宅」の普及推進

◆中小企業者の資金調達の円滑化
- 中小企業者に対する円滑な融資を促進するため、中小企業総合振興資金の原資を金融機関に預託するとともに、別途コロナ対応の特別対策も実施　等

第2期北海道創生総合戦略
重点戦略プロジェクト

②「磨き高め輝く・北海道価値」プロジェクト

～ 多彩な価値・魅力を活かしたしごとづくり ～

これまでの主な取組

◆HOKKAIDO LOVE！プロジェクト

- 「HOKKAIDO LOVE!」の共通コンセプトのもと、経済施策や交通施策を一体感をもって展開し、道民の「遊ぶ」「泊まる」「乗る」「買う」などの行動を通して地域の循環を高める取組を展開

道内旅行商品割引（どうみん割）

教育旅行支援事業

プレミアム付商品券発行支援事業

◆道産食品の需要喚起

- 新型コロナウイルスの影響により売上が落ちている道内の食品製造事業者を支援するため全国の消費者に道産食品を届ける通信販売
- 道産食品の消費喚起のため、アンテナショップや百貨店等で利用可能なプレミアム付き商品券の発行やオンライン物産展の開催　等

食絶景北海道
FOODIE ISLAND HOKKAIDO

◆農林水産業の需要喚起

- 道内の学校給食を実施する小中学校等に対し、和牛を中心とする道産牛肉を無償で提供するとともに食育活動を実施
- 道内の学校給食を実施する小中学校等に対し、ホタテガイなどの道産水産物を無償で提供するとともに食育活動を実施
- 公共施設等の木造化・木質化の促進やHOKKAIDO　WOODを活用した海外や国内でのPRなど道産木材の需要喚起　等

HOKKAIDO WOOD

２０２１年度の推進方向

本道の強みを成長エンジンに変える

域内循環・国内需要の取り込み

◆巣ごもり需要にも対応した道産品の域内循環・販路拡大

- 愛食・食育・地産地消の取組を推進
- 道産食品のブランド力強化と販路拡大
- アンテナショップやネット通販での割引販売

◆道内・国内における観光需要等の取り込み

- マーケティングの強化による国内誘客の促進
- 旅行商品の割引支援や・「ぐるっと北海道」による消費喚起
- 市町村が発行するプレミアム付商品券の発行支援

力強い農林水産業の確立

◆農家負担の軽減による農業生産基盤の整備促進

- 農業者が必要な生産基盤整備に積極的に取り組めるよう道と市町村が連携し、農家負担を軽減する特別対策を実施

◆秋サケ資源回復の加速化

- 秋サケ資源の早期回復を図るため、全道の海域において遊泳力等を強化する餌を与えた稚魚放流の実施、種苗生産施設整備への支援など

◆豊かな森づくりの推進

- 林業・木材産業の成長産業化と地球温暖化防止など森林の有する多面的機能が発揮できる森づくりの推進を図るため、森林所有者が計画的に実施する植林を支援

ゼロカーボン北海道の実現

◆脱炭素モデルの創出・普及

- 道民のライフスタイルの見直しや再エネ導入など、道内の脱炭素化に向けた取組や、取組促進に必要な支援策を調査・検討
- 本道の脱炭素社会の早期実現を図るため、再エネ転換・省エネ徹底を促し、道民・事業者等の行動変容を促進
- 北海道気候変動適応センターを拠点として、気候変動による地域の被害の回避・軽減に役立つ科学的知見を情報発信等し、道民、事業者等の適応の取組を推進

◆省エネ・新エネの導入促進

- 地域が主体となって行う新エネ導入と合わせて行う省エネ導入について、事業計画策定から導入までの各段階に応じた総合的支援等
- 水素サプライチェーンに関する地域勉強会やFCV展示会、再生可能エネルギーによる水素生産や利活用などの実証事業など、水素関連産業の基盤形成を促進

◆森林吸収源対策の推進

- 森林の適切な整備・保全を通じた二酸化炭素の吸収量の確保や、木材や木質バイオマスの利用拡大による炭素の貯蔵及び二酸化炭素の排出削減の推進

感染防止対策を徹底したオリンピック競技の開催

- 聖火リレー等の会場に応じた感染防止対策の徹底
- ホストタウン等との連携による選手団の受入れ
- オリンピックを契機とした本道の魅力発信

地域資源の魅力発信

- 縄文遺跡群の世界遺産登録と価値の磨き上げ
- ウポポイなどを通じたアイヌの歴史・文化の魅力発信と理解促進
- アドベンチャートラベル(ＡＴ)の推進に向けて、ＡＴガイドの育成やＡＴ商品の造成

縄文 JOMON JAPAN

ウポポイ 民族共生象徴空間

道産食品等の輸出拡大など

◆デジタル技術を活用した道内企業の海外展開支援

- ビジネスや消費行動の場面での急速なデジタル化の進展を踏まえ、道内企業のデジタル対応力を強化し、海外展開を支援

◆海外アンテナショップの支援機能強化

- 海外アンテナショップ(北海道どさんこプラザ)の活用や支援機能の強化により、道産食品のＰＲ及び販路拡大を図る